



使用者: 永田 潔文

授業シラバス

印刷

詳細情報

2019-S000009623-01

2019-01-27 14:09:29

科目名「クラス名」(サブタイトル)

期別

単位数

開講年次

アカデミックスキルズゼミⅡ (思考と発想のレッスン)

後期

2

1

担当教員 永田 潔文、森田 泰暢(商学部)、道山 治延(法学部)、関口 浩喜(人文学部)、吉田 秀幸(薬学部)

授業形態

実務経験

科目水準

試験実施

概要

この授業では、大学での学修に必要な基本的な「学問の技法(アカデミックスキルズ)」を多角的に学びます。特にアカデミックスキルズゼミⅡでは「思考と発想のレッスン」という事で、順序立てて考える習慣を身に付ける事や、新しいアイデアを得るための方法を学ぶ事に重点を置きます。また、この授業は異なる学問分野を専門とする5名の教員が担当しますので、色々な考え方や論理の展開の仕方を学ぶ事ができます。

第1回目の合同ガイダンスの際に、受講生を5チームに分けます。それぞれのチームが3名の教員から4回ずつ授業を受けることとなります(第2回目から第13回目)。ここでは、具体的なテーマや課題が提示され、その解決のための方法や手続きをゼミの参加者全員で考え議論しながら、多面的な考え方を自ら学び、それを今後の大学での学習に応用する力を身に付けます。

第14回目と第15回目の合同ゼミでは、受講者全員が1つの教室に集まって、それまでに学んだアカデミックスキルズを実地に応用する課題に取り組みます。学期中の2回の実践レポートを通じてレポート作成のルールと基本的な体裁を知り、適切な構成と論理性を踏まえた内容のレポートを作成する練習をした後、学期末には、合同ゼミの内容を踏まえて各自が最終レポートを提出します。

到達目標

グループによる学習方法、即ち、人の話を聞く、自分の意見を相手にわかりやすく述べる、グループで決めた学習ルールを守る、議論に積極的に参加する、仲間と協調して1つの課題に取り組む、等の態度や方法を習得する。(技能)

他人の思考方法や発想方法を学ぶことで、多様なものの見方や分析の仕方、柔軟な発想力を習得する。(技能)

2回の実践レポートと最終レポートでは、レポート作成ルールを順守して形式的な体裁を整え、適切な構成と論理性を踏まえた内容のレポートを作成できる。(技能)

順序だてて考える習慣を身に付ける。(態度・志向性)

一人では解決できない複雑な問題に対して、グループを形成することで解決していくという態度を身に付ける。(態度・志向性)

授業時間外の学習(予習・復習)

かならず復習をして、理解の難しかった点を自分なりに整理し、次回の授業で質問するようにしてください(90分)。また、次回の授業までに調べてくるよう指示された項目については必ず予習をしたうえで(90分)、授業にのぞんでください。また、レポートは、教員の指導に従い十分な時間をかけて作成してください。

成績評価基準および方法

定期試験は行いません。第2回目から第13回目までの授業では、欠席の有無、ゼミでの発言の内容(多様なものの見方や分析、柔軟な発想ができたかどうか)や積極性、協調して問題解決に取り組む姿勢を総合的に評価します。なお、協調性を乱すような行為、遅刻や欠席、宿題の未提出や提出遅延は減点の対象とします。これらを平常点とします。

第14回目と第15回目の合同ゼミでは、チーム毎の発表と質疑応答を通じて提案内容と表現の工夫、質疑応答内容、チームワークをチーム単位で評価します。

2回の実践レポートと学期末の最終レポートでは、与えられた問題に対する多様なものの見方や、柔軟な発想に基づく解決策が正しい日本語で表現さ

テキスト

特に使用しません。授業中に、適宜、プリントなどを配布します。

参考書

『福大生のための学習ナビ』(福岡大学 教育開発支援機構)

『「言葉の力」育成の手引』(福岡大学 教育開発支援機構)

その他、授業中に適宜、紹介します。

履修上の留意点

このアカデミックスキルズゼミⅡは講義形式の授業とは異なり、参加する皆さんが主役となって作りあげてゆく授業です。担当教員が講義する場面もありますが、基本的には皆さん自身が自ら考え、調べ、発言し、他の仲間と議論することを通じてアカデミックスキルズを身につけてゆくこととなります。その意味で、授業には積極的な姿勢でのぞむことが求められます。皆さん自身が主役の授業ですから、無断欠席は大幅な減点の対象となります。欠席する場合には授業開始までにメール等で担当の教員に連絡して下さい(次回の授業に向けた課題がでている場合があります。授業後であってもかならず次回までに担当教員に連絡し、課題の有無を確認すること)。

なお、もし可能であれば、前期開講のアカデミックスキルズゼミもあわせて履修することを勧めます。より充実したアカデミックスキルズの習得が期待できます。

授業計画

回	授業内容
1	合同ガイダンス
2~13	「概要」欄に書いたように、2回目から13回目までは、受講生は5チームに分かれます。それぞれのチームは3名の教員から4回ずつ授業を受けることとなります。担当教員3名の組合せはチームによって異なります。各チームの担当教員割を記載した「2019年度アカデミックスキルズゼミⅡ 授業予定表」をWebシラバスの「添付ファイル」欄に添付しているため、参照してください。詳細は第1回目の合同ガイダンスで説明します。なお、5名の教員の4回分の講義内容は以下の通りです。
	関口(人文学部): ①一錠しかない特効薬を誰に与えるべきか? : 問題を正確につかみ、自分なりの回答を考える。②一錠しかない特効薬を誰に与えるべきか? : 他人の回答を聞きながら、多面的に考える。③友人ができないという悩み: 問題を正確につかみ、自分なりの回答を考える。④友人が

れているかについて評価します。留意点として、ネット上の文章や他の人の文献からの剽窃は大幅な減点になります。自分の考えを自分の言葉で表現することが大切です。

以上、平常点と合同ゼミ、レポートの評価の割合は、それぞれ6割、1割、3割とします。

	できないという悩み:他人の回答を聞きながら、多面的に考える。
	永田(理学部):①テーマと情報収集の役割を決める。②収集した情報を読み、紹介する。③KJ法により、ストーリーを作る。④文章化し、1つの意見にまとめる。
	森田(商学部):①時代の変化と観察調査 ②大学構内の観察フィールドワーク ③調査結果の整理と分析 ④分析結果に基づいたサービス提案
	吉田(薬学部):①思考と発想:頭を柔らかくする。②思考と発想:グループで考える。③思考と発想:物事を多面的に捉える。④思考と発想:発表し、討論する。
	道山(法学部):①読む/調べる:「できちゃった結婚」って何? ②意見を交換しよう:「できちゃった結婚」の何が問題? ③調べよう:世界の「できちゃった結婚」 ④まとめよう:グループで結論
14,15	合同ゼミ(担当者全員)

添付ファイル

[授業予定表\(木曜日1限\)
\(ASゼミⅡスケジュールB.pdf\)](#)



Copyright (C) 2006 Fukuoka University. All Rights Reserved.